

発行 車体発 23 第 171 号
2023 年 10 月 26 日

2023年度秋季会員大会の会長挨拶

10月27日に開催しました秋季会員大会における会長 増井敬二（トヨタ車体(株) 会長）の挨拶をお知らせいたします。

車体工業会会長を務めております増井でございます。

会員の皆様には日頃から当会の活動にご支援・ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

今年は東京モーターショーが「ジャパンモビリティショー」として生まれ変わり、一昨日のプレスデーより4年ぶりに開催されております。当会におきましても対面形式での「秋季会員大会」を4年ぶりに開催をさせていただきます。ご多用中にもかかわらず、多くの皆様に、ご出席を頂き開催することができましたことに、心より感謝申し上げます。

ところで、本年も各地で多くの自然災害が発生しました。被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。もし、お困りごとがございましたら、当会事務局にご遠慮なく、ご相談頂ければと思います。

それでは、当会の活動状況についてお話しさせていただきます。

まず、当会会員の本年度4月から9月の生産台数累計は、109万2千台、前年比122.1%となっております。そのうち、カーメーカーからの委託生産車を除く、当会特有車種を見ますと、シャシ納入遅れ問題などが改善されつつあり、トレーラーを除く製品が前年比増に転じて、7万861台、前年比116.5%となりました。

明るさが少し見えてきたとは言え、世界情勢が不安定さを増す中、原油価格・物価の高騰など、依然として経済を取り巻く環境は厳しく、引続き予断を許さない状況です。

次に当会の事業計画の進捗状況について少しお話しさせていただきます。

今年度も、「カーボンニュートラル対応」、「安全対応活動の推進」、「環境対応自主取組みの推進」、「中小企業支援活動の推進」、「活性化活動の継続推進」の主要活動5項目について活動しております。

その中でも「カーボンニュートラル対応」につきましては、2030年に向けた「推進ロードマップ」に基づき、本年度からは、活動の主体を本部委員会・部会・更には支部へと拡大し、活動を進めております。

今月 17 日の第 22 回のカーボンニュートラル専門委員会の中では、各本部委員会と部会の活動状況報告を通じて、各部会それぞれの特徴・課題を皆さんと議論、確認が出来た有意義な場となりました。会員のみなさんの生の声に寄り添った活動に一步でも近づけて参りたいと思います。

勉強会につきましても、ホームページで「入門編」の動画配信を行い、理解向上を図ると共に「実践編」を 5 回開催し、48 社 266 名の方に参加頂きました。

支部活動として、7 月には中部支部が岐阜車体工業に於いてカーボンニュートラルの勉強会を実施し、支部会員 26 社、75 名という多数の方に参加頂きました。講義形式での勉強会に加え、工場での動力を使わない「からくり」などの取り組みの紹介など有意義な勉強会となりました。

今後もロードマップの推進に向けて、このような勉強会の実施や効果的な情報提供などに取組んでいきますので、継続した活動をよろしくお願いします。

次に「活性化活動の推進」としては、今年 5 月のコロナ 5 類移行を受け現地現物、対面での活動が再開され、つい先日も、現地現物による技能系社員研修をトヨタ車体で開催。全国各地から 12 名の方に参加頂き、その場に私も参加させて頂きました。

受講者の皆様からは安全の研修などは「理屈で解っていても、身をもって体験できたことがとても効果的であった。ただ作業をするのではなく考える大切さを学べた」という声を頂いております。また、このような「ご縁」が、この後の横の大事な繋がりとなり、会員相互の連携が更に深まっていくことが当会にとっても大事なことだと考えています。

以上のように、現時点で事業計画は、概ね計画どおり進捗していると判断しております。下期も継続して事業計画を推進してまいりますので、ご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

さて、冒頭でも少し触れましたが、本日は「ジャパンモビリティショー」の開催日であり、「乗りたい未来を、探しにいこう！」をテーマに 11 月 5 日まで開催されます。当会も「東展示場屋外」にて合同出展をしておりますので足を運んでいただけますようお願い致します。

最後に会員各位の益々のご発展と、ご健勝を祈念致しまして、開会の挨拶に代えさせて頂きます。本日は誠にありがとうございます。

(本件の問合せ先) 日本自動車車体工業会 事務局 小森